

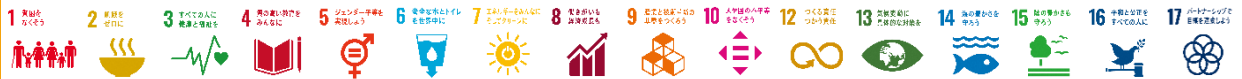
シリーズ豊前市 SDGs とは？ “誰一人取り残さない持続可能な社会”を実現する世界共通目標である SDGs。全部で 17 個ある SDGs の目標を、地域の視点を取り入れ、そして一人一人ができる取組事例を取り入れて、毎月 1 つずつご紹介していく 2022 年 1 月から開始した連載です。地域の未来のために、私たちと私たちの大切な人が持続可能であるために。豊前で始める最初の第一歩。毎月 SDGs を一緒に学びながら、**自分にできることを一緒に始めていきましょう。**

目標 11 「住み続けられるまちづくりを」 安心して暮らせるまちや災害に強いまちをつくる



2019 年時点で世界の人口の約半分以上の 55%の人が、都市と呼ばれる限られた地域に密集して暮らしています。そして今後ますます都市で暮らす人が増えると考えられていて、2050 年までには世界の 3 人に 2 人が都市で生活すると予想されています。便利な反面、狭い土地にたくさんの人が暮らし、ビルが立ち並びエネルギーも大量に消費してしまいます。自動車の排気ガス問題、水の汚染問題、大量のごみ問題、海外ではスラムと言った貧しい人たちが暮らす地域の問題もあります。

では、日本はどうなっているのでしょうか。人口の約半分以上が、東京・名古屋・大阪の 3 大都市圏で暮らしています。地方では、人口が減ってしまった地域や、高齢化が進んでいる地域もあります。人口が減ったり高齢化が進んだりすると、森や田んぼ、畑を管理する人がいなくなって荒れてしまう、病院や商店、学校までの移動手段の確保など様々な問題も起きています。一方、最近では地域の特徴をもう一度見直して持続可能なまちをつくる試みも始まっています。「ずっと住み続けたい」そう言ってもらえる町を目指して色々な取組が始まっています。

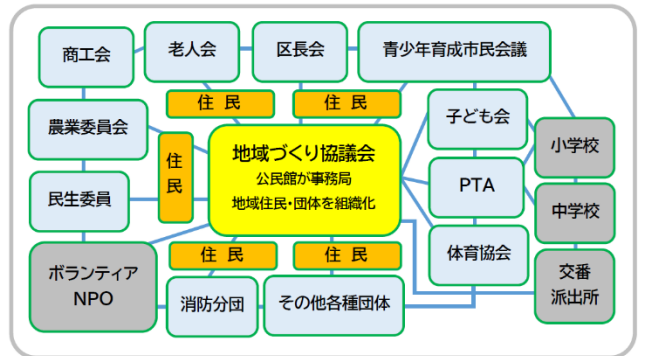


豊前市の取組 | 地域づくり協議会

地域に愛着を持つ皆さんが、地域のあり方をご自身で考え住みやすい地域づくりを目指すしくみ

日本の多くの地方都市では、人口が減り高齢化が進んでいることが深刻な問題となっています。そこで豊前市では、地区公民館単位の 11 地区で「地域づくり協議会」が設立されています。「地域づくり協議会」とは、地域の皆さんが、地域のあり方をみんなで考える場です。地域内の各種団体を中心に情報を共有し、地域の問題点を洗い出し、問題の解決を図るため、役割を分担しながら、無理のない範囲で活動を行っています。地域の課題を、「自助」「互助」「共助」「公助」の 4 つに整理し、共助の部分では官民協働の取り組みを通じて、住みやすい地域づくりを目指しています。

<「地域づくり協議会」のイメージ>



SDGs の主人公はわたしたち

身近なところにある SDGs

一人一人ができる取組事例

目標 11 「住み続けられるまちづくりを」は「すべての人に快適で安全な暮らしを提供するため」の重要な目標です。今回ご紹介する取組以外にも、個人でできる取組はたくさんあります。まずは新聞や公共施設など周囲に目を向け、身近に自分ができる取組が紹介されていないか、そしてヒントが隠れていないか探し、できることから始めましょう。

<わたしたちにもできること>

- ① 地域活動に参加してみる
- ② まちづくりに積極的に参加すること
- ③ 自分が住んでいる街の魅力を考えてみる
- ④ 身近な生活を心地よくできる当たり前の挨拶など、小さな取組から大切にしていこう



株式会社二コソ日総プライム 水谷洋司(英国 CMI 認定サステナビリティ(CSR)プラクティショナー)